

## トップコーチが語る「恩塚亨とは？」

日本代表ではテクニカルスタッフとして、チームを支えてくれました。若手ではありますが、非常に優れた観察眼を持っていて、いまや日本代表にも欠かせない存在です。オリンピックの際にもアナリストとして、彼の分析力や戦術眼を遺憾なく発揮してくれました。

—————内海 知秀 氏  
(女子日本代表ヘッドコーチ)

同じリーグで戦う敵将ですが、一緒に仕事をすることもありますし、バスケット談義もする仲間です。彼の強みは、なんといっても「対応力」でしょう。相手の強みを消し、自分たちの有利な状況に持ち込むのが抜群にうまい。リーグ戦は2日続けて行われますが、1日目に通用した戦術が、次の日にはもう効かなくなっています。いろんなスタイルを熟知し、明確にやるべきことをやってくる、対戦相手としてはやっかいな存在です。

—————佐藤 智信 氏  
(白鷗大学、2015全日本U-24ユニバーシアードチームリーダー)

恩塚先生の地元が九州(大分)ということもあり、以前からお付き合いがありました。二島中学校のファンダメンタルの多くは、恩塚流のメニューになっています。

彼のすごいところは「チームがこんな状況なんだけど」と相談すると、即座に練習メニューにして落とし込んでくれるようなところ。深い知識と分析力がなせる業だと思います。そういった意味では日本でNo.1のコーチではないでしょうか。

また、大学のトップレベルやナショナルチームでコーチをしているにも関わらず、中学生にさえヒントを求めてきます。逆にこちらから情報を提供することもありますし、同じバスケットとして垣根を越えて研究されています。年下ではありますが、非常に学ぶところの多い指導者です。

—————山崎 修 氏  
(北九州市立二島中学校、JBA U15女子ユース育成コーチ)